大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）

2023年 第51週（12月18日～12月24日）

今週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「新型コロナウイルス感染症 増加続く」

第51週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,655例であり、前週比9.0%減であった。定点あたり報告数の第１位はＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎で以下、感染性胃腸炎、咽頭結膜熱、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.98、4.95、2.08、0.60、0.52である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比10%減の981例で、泉州7.52、大阪市南部6.33、大阪市西部6.10、北河内6.00、南河内5.63であった。

感染性胃腸炎は10%減の976例で、南河内7.88、中河内7.75、大阪市西部5.90である。

咽頭結膜熱は15%減の409例で、北河内3.80、中河内3.10、南河内2.81であった。

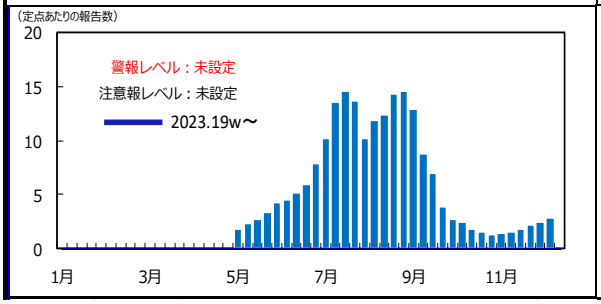
手足口病は8%減の119例で、南河内1.19、堺市1.05、大阪市西部0.90である。

流行性角結膜炎は4%減の27例で、大阪市東部1.33、南河内1.25、中河内0.80であった。

インフルエンザは20%減の4,827例で、定点あたり報告数は15.77である。堺市20.72、大阪市西部19.93、南河内19.42、北河内18.34、大阪市北部16.45である。

新型コロナウイルス感染症は17%増の893例で、定点あたり報告数は2.92であった。堺市3.31、南河内3.29、泉州3.26、北河内3.24、大阪市南部3.22である。第46週以降増加が続いている。

新型コロナウイルス感染症



インフルエンザ

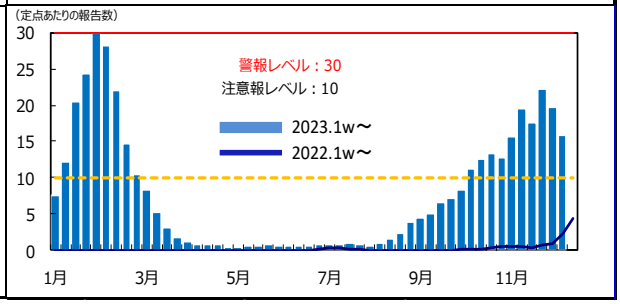


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2023年 第51週12月18日～12月24日）

第51週の順位	第50週の順位	感染症	2023年第51週の定点あたり報告数	前週比増減	2022年第51週の定点あたり報告数	2023年第51週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.98	10%減	0.34	６歳_14%
2	2	感染性胃腸炎	4.95	10%減	4.82	１歳_15%
3	3	咽頭結膜熱	2.08	15%減	0.16	３歳５歳_16%
4	4	手足口病	0.60	8%減	0.44	１歳_34%
5	5	流行性角結膜炎	0.52	4%減	0.15	20歳以上_81%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	15.77	20%減	2.21	20歳以上_25%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	2.92	17%増	-	50-59歳_14%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第51週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉･食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏～初秋において、腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加するが、2023年は秋以降も報告数が多いことから、引き続き注意が必要である。

腸管出血性大腸菌感染症（大阪府感染症情報センター）
腸管出血性大腸菌感染症とは(国立感染症研究所)

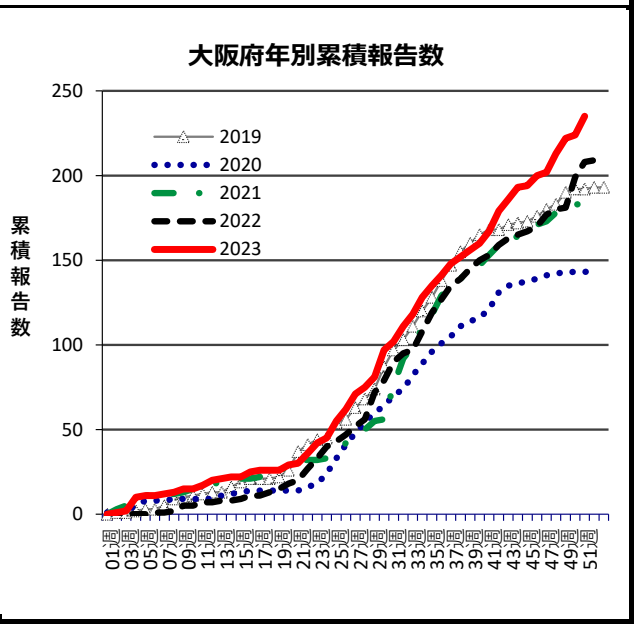


表２．大阪府全数報告数（2023年 第51週12月18日～12月24日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名 （ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	**11**			4	2	1		4		235
４類感染症	**デング熱**	**1**								1	20
	レジオネラ症（肺炎型）	**2**				1				1	131
５類感染症	**アメーバ赤痢**	**1**			1						52
	ウイルス性肝炎	**1**								1	24
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	**3**		1						2	171
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	**2**		1			1				54
	後天性免疫不全症候群	**1**								1	74
	侵襲性肺炎球菌感染症	**2**			1					1	160
	梅毒	**14**		1	1		1	1	2	8	1,930
	百日咳	**1**							1		49
結核 (2023年10月分)	**結核　新登録患者数：96名**　（内　肺･喀痰塗抹陽性　29名） （府内累積報告数　936名、内　肺･喀痰塗抹陽性　318名）										

（2023年12月26日　集計分）